

平成22年10月8日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について (第一部会第2回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の第一部会第2回定例会議は、9月22日(水)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

議事では、委員会が抽出した案件11件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

(第一部会) 仙台市青葉区二日町9番15号

TEL (022) 225-2171 (代表)

主任監査官
入札契約監査官
契約管理官
技術開発調整官

くま 熊 丸 に 新 こ	が い 谷 や ま 山 の 野 せ き 関	い さ お 伊 佐 男 さ か え 栄 と し 俊 けん 賢 は る 晴 じ 次	(内線2114) (内線2220) (内線2222) (内線3120)
-----------------------------	---	---	--

東北地方整備局 入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日及び場所	平成22年 9月22日（水） 東北地方整備局 大会議室	
委員	部会長 佐藤 英世（東北学院大学法科大学院教授） 部会長代理 宮原 育子（宮城大学事業構想学部事業計画学科教授） 委員 京谷 孝史（東北大学大学院工学研究科土木工学専攻教授） 委員 熊谷 真宏（公認会計士・税理士）	
審議対象期間	平成22年 4月 1日 ～ 平成22年 6月30日	
審議案件	総件数 11件 （別紙－1 審議案件概要書 のとおり）	
工 事	一般競争入札（政府調達）	0件
	一般競争入札 （政府調達以外）	5件
	工事希望型競争入札	0件
	工事希望型以外の指名 競争入札	0件
	随意契約	1件
	建設コンサルタント業務等	3件
役務の提供等及び物品製造等	2件	
	（備考） ○入札結果及び工事・建設コンサルタント業務等の発注件数、指名停止件数・談合情報等の報告並びに低入札価格調査対象工事の件数等の報告を行った。	
委員からの意見・質問、 それに対する説明・回答	別紙－2のとおり	
委員会による意見の具申 又勧告の内容	別紙－3のとおり	

審議案件概要書

(工 事)

	工 事 名	入 札 方 式	場 所	契 約 金 額 (単位：千円)	入札参加者数
1	白旗野道路改良舗装工事	一般競争入札方式 (政府調達以外)	青森県青森市	252,840	12
2	水沢道路改良工事	一般競争入札方式 (政府調達以外)	岩手県宮古市	148,050	5
3	新唐桑トンネル通信設備設置工事	一般競争入札方式 (政府調達以外)	宮城県気仙沼市	118,650	1
4	大崎下流維持工事	一般競争入札方式 (政府調達以外)	宮城県大崎市 他	244,860	5
5	郡山地区植栽維持工事	一般競争入札方式 (政府調達以外)	福島県郡山市 他	14,406	3
6	栗駒山系市野々原地区護岸緊急復旧工事	随意契約方式	岩手県一関市	9,450	—

(建設コンサルタント業務等)

	業 務 名	入 札 方 式	場 所	契 約 金 額 (単位：千円)	入札参加者数
7	最上川ダム統合管理事務所管内ダム管理支援業務	一般競争入札方式	最上川ダム統合管理事務所 他	86,625	1
8	摺上川ダム自然環境調査	指名競争入札方式	摺上川ダム管理所管内	9,786	10
9	秋田県管内路面性状測定業務	指名競争入札方式	秋田県管内	1,607	7

(役務の提供等及び物品の製造等)

	業 務 名	入 札 方 式	場 所	契 約 金 額 (単位：千円)	入札参加者数
10	航空機運航・維持管理業務	一般競争入札方式	東北地方整備局管内他	136,290	2
11	東北地方整備局庁舎で使用する電気	一般競争入札方式	東北地方整備局庁舎	40,573	3

別紙－ 2

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
・なし	

2. 審議	
1 白旗野道路改良舗装工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・入札金額は、落札者に付随しているグループとそうでないグループに分けられる。事後的にこの分布に注目はしなかったのか。性悪説に立って判断すべきでないか。 ・入札金額のグループが出来ること自体、「やっぱり変」という目線を発注者が持つことが大事ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分布については、特に調べていない。 ・調査基準価格を意識して入札するグループと、それなりの利益を確保した金額で入札するグループとに大別できるものと考えられる。 ・談合疑義があれば、公正入札調査委員会で対応することになっている。
2 水沢道路改良工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・入札調書から、落札率は85.1%、入札者の内3者が1.4億円台の入札、評価値で順番が変わらないなど入札金額の類似性が気になる。 ・入札が無効とされた応札者がいるが、なぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札者の判断で応札されており、受注意欲などが考えられる。 ・書類不備のため無効とした。
3 新唐桑トンネル通信設備設置工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・技術資料提出可能業者数は25者もいるのに、入札参加業者数が1者だけの理由は何か。 ・このトンネルには、こういった設備が必要なのか。 ・競争性を増すために工種ごとに分割するなど工夫の余地があるとのことだが、分割すると契約金額が割高になることはないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ラジオ再放送設備」と「無線通信補助設備」は、トンネル設備の中でも需要が少なく、製造業者が少ないことなどが推測される。 ・トンネル設備は、トンネル延長及び交通量により「トンネル等級」が区分され、その等級により設置する設備は決められている。 ・工事金額が大きいものについては、できるだけ多くの参加者を求める工夫は必要と考えている。

意見・質問	説明・回答
4 大崎下流維持工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本件工事は工期が3年間、金額も3年分で契約しているということか。 ・ 従来は毎年度発注していたということか。 ・ 入札無効となった応札者があったとのことだが、無効になるのはよくあることか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ そのとおり。 ・ 従来は毎年度発注していた。 維持工事については、競争参加者の減少やいわゆる「不調・不落」も発生している。長期的に適切な維持管理を継続し、より安定性・競争性を確保するための試行として、複数年契約を実施した。 ・ まれなケースである。
5 郡山地区植栽維持工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去5年間、今回と同一の業者と契約しているが、他の業者が参入しづらいことはないのか。 ・ 植栽維持は何工区発注しているのか。また、請負者は同一か。 ・ 今年度も含め6年間も同一の業者が受注しているが、今後ともそれでやむを得ないと思うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通じての体制確保や災害時等における緊急出動に加え、現道上での作業が主で、通行規制等徹底した安全管理が求められるため、参加者が少ないものと推測される。 なお、今年度は、本・支店又は営業所が存在する地域を広げるなど、参加資格要件を緩和している。 ・ 2工区に分けて発注しており、請負者は異なる。 ・ 維持工事については、特定の会社が受注し続ける場合と、不調・不落になる場合が出ている。長期的に適切な維持管理を継続し、より安定性・競争性を確保するため、複数年契約を試行するなど方策を検討している。
6 栗駒山系市野々原地区護岸緊急復旧工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初の河道付け替え工事も、緊急随意契約で実施したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般競争入札方式で実施した。

意見・質問	説明・回答
7 最上川ダム統合管理事務所管内ダム管理支援業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・過去5年間同一の請負者が受注しているが、競争性を高める工夫はされているのか。 ・契約金額8600万円位で落札率98.7%。 業務の性質が違っても、工事の落札率は、一般的に85%程度であり、この落札率はある意味異常といわざるを得ない。今後一考願いたい。 ・このようなダム管理支援業務は、すべて公益法人が受注しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務はダム管理という特殊性があり、日常的な巡視、点検等に加え24時間体制で情報連絡業務等を行わなければならない。そういった意味で経験のない会社は、実態としてあまり参加されないものと推測される。 なお、これまで「随意契約の見直し計画」等に基づき「競争性のある契約方式」への移行を進めてきたところである。 ・公益法人が受注している。
8 摺上川ダム自然環境調査	
<ul style="list-style-type: none"> ・入札調書から次の3点が気になる。 予定価格にかなり近い応札者がいること、調査基準価格と同一の応札者がいること、そして低価格入札となったという事実。これらについて、どう考えているのか。 ・環境調査は、毎年すべてのダムで実施しているのか。 ・調査の成果は、次の事業や工事に反映なり、フィードバックはされているのか。 ・指名競争で実施した理由はなにか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格は標準歩掛りがないことから、指名した業者に参考見積の提出を依頼し算定している。採用した歩掛りは参考資料として各社に示しているの、ある程度予定価格等は推定できると思われる。 なお、低入札価格調査を実施し履行可能と判断した。 ・直轄ダム等を中心に実施している。ダム等の管理に係るフォローアップ制度等に基づいた項目を調査しているが、調査項目は5年あるいは10年間隔で実施しているものもある。 ・調査結果は学識経験者や専門家で構成されるフォローアップ委員会に報告し、その助言はダム管理に反映している。 ・定型的な調査方法であることや業務規模等から指名競争入札とした。
9 秋田県管内路面性状測定業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・落札率が45.5%であるが、測定車両を保有しているからという理由だけで割り切っているのか。 ・履行できると判断した理由はなにか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・路面性状測定車の稼働率向上を図るためや、過去5カ年での本業務の実績が無いことから実績確保等が考えられる。 なお、指名業者からの参考見積を基に予定価格を算出しているが、参考歩掛りは入札参加予定者に示している。 ・低入札価格調査の対象ではないが、当該業務の実績や測定車両の保有、当初提出した見積書等から判断した。

意見・質問	説明・回答
10 航空機運航・維持管理業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格要件で、ヘリコプターの保管基地を仙台空港内に確保とあるが、この条件を満たす業者が7者いるということか。 ・競争参加資格要件の中で、操縦士は2名以上確保できることとあるが、計器飛行が可能な資格を有する人は1名以上確保となっているのはなぜか。 ・年間の飛行時間はどの位か。また、東北管内だけが飛行区域か。 ・年間飛行時間が200時間程度だと、1時間あたりの運行費用は68万円以上とかなり高いのではないか。 ・年間飛行時間からみて、経済合理性をある程度追求すべきである。 ・高い落札率や入札参加業者数が2者、そして過去5年間の受注業者をみると、同じ2者が繰り返しているようだが、疑問に思わないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり。 ・災害時等において有視界飛行が困難な場合は、計器飛行を行う必要がある。計器飛行時には、操縦士2名の搭乗が定められている。 ・年間平均すると200時間くらいである。過去には中越地震等の応援も行っている。 ・操縦士や整備士の拘束など運航費・管理費・整備費等を含んでおり、1時間あたりの運行委託料は約20万円程度である。 ・有効活用については、地方公共団体と協定を結ぶなど取り組んでいるが、利用目的の拡大など含め検討していく考えである。 ・大型のヘリコプターであることや操縦士・整備士を確保しなければならず、応募できる場所は限られていると思われる。
11 東北地方整備局庁舎で使用する電気	
<ul style="list-style-type: none"> ・本年度から一般競争で契約しているのか。 ・昨年度と今年度の契約相手方は同じか。 ・予定価格と同額の入札者がいるが、なぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度で2回目である。 ・異なる業者である。 ・公表されている単価をもとに入札されたものと思われる。

3. 委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項はない。

○総評

当整備局は入札手続きの透明性あるいは競争性を確保するために、いろいろな方策を講じている、又は試行的にそういうことをやっていることについては、非常に評価したい。

○要望

審議案件については、原則として過去5年間の契約業者名を資料として提出していただきたい。

【当局からのコメント】

要望については、幅広に考えて提出して参りたい。